

第495回 12/2(火) 一般社団法人「日本スティック競技振興協会」

出演 小田切祐佳さん「合同会社すまいぶる」代表
白井 博 大和市民活動センタースタッフ

「スティック競技」を通じて、誰もが、どこでも、いつでも楽しめるスポーツ・レクリエーションの普及と発展を目的として2022年に発足。この競技は誰もが知っている「棒」をモチーフとしたクやボールを打ってゴールを狙う安全性の高いニューから小さな子どもまで、すぐに熱中できる点が特徴。現在、特に力を入れているのは、地域のイベントや学校・福祉施設などへの「スティック競技体験会」の展開です。競技を通じて、楽しみながら子どもたちのチームワークや戦略的思考を育む「豊かな教材」としての価値を広げていきたいと考えているとのこと。



出演の小田切さんは「木のメカおもちゃ作家」です。機械エンジニアの仕事を7年半やり、木工を勉強して、今の作家活動をはじめました。機械の仕組みはロジカル、プログラミング的思考を育む面を持ちます。これとスティック競技ならではのフィジカルな面の組合せの相乗効果を狙ったワークショップが開かれました。子どもたちに楽しさを提供し、笑顔になってもらいたいということで同じ方向を向いています。「今回のイベントでも、たくさん笑顔になってもらえたら嬉しいなと思っています」と小田切さん。

☆1月の出演 第497回 1/6(火)「がくいきの会」 第498回 1/20(火)「地域を明るくするリハビリテーション専門職の会 大和」

FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

TSUBASA's トーク 第51回 20代の挑戦 シンガポールマラソン

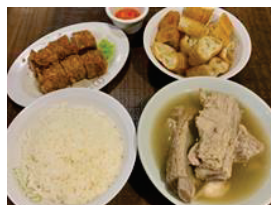
箱根駅伝のファンの僕も、実は駅伝経験者だ。15年ほど前、引地台中学校の陸上部時代に、冬の市内駅伝をアンカーとして走った。大和のなでしこスタジアムをオレンジのユニフォームで駆けつけた思い出がある。担任だった理科の婦人の先生が知らずに応援席に来ていて、そこからの声援で最後の200メートルだけは頑張れた。



その15年後、再び長距離走ランナーになり、シンガポールマラソンに踏み出した。「今の自分ができる一歩難しいことに挑戦して、その世界を楽しんでみよう」ととても前向きな心持ちだったが、本番では気持ちが折れそうな苦しい場面も多かった。

レースの前日、夕食にチャイナタウンという町を訪れた。バクテーという豚の骨付き肉を長時間煮込んだ料理は、日本の鍋料理と似ており負担が少なく、レース前にも良いのではと思ったからだ。実際あっさりしたスープを次々注

ぎ足してくれてサービスもよく、肉自体も非常に美味。バクテーは19世紀後半、中国出身の移民が重労働に耐えるために生み出した薬膳スープ料理で、料理店が「肉骨茶」と呼ぶようになったのが始まりだそう。



しかし、その肉骨茶を食べてホテルに帰った後から、体がとても熱い。なんだか頭も冴えてくるし、これでは明日朝の会場行きのバスの時間まで、十分眠れない。一体どんなスパイスを使っているんだ?

結局普段より少ない睡眠の中、気温の高さに備えた朝4時半のスタートを迎えることになった。会場までのバスが朝の2時半発だったので、かなり眠かった。

第496回 12/16(火)「大和市手をつなぐ育成会」

出演 内出裕子さん「大和市手をつなぐ育成会」会長

本会の始まりは、昭和35年に深見小学校に設置された特殊学級の親の会。翌年に神奈川県手をつなぐ育成会に登録して、大和支部としての活動をはじめました。主に知的障がい・発達障がい児者と親、支援者の会として、地域の中で安心安全に暮らせるように「手をつなぐ」「共に生きる」ということを活動理念としています。主な活動内容 ①福祉サービスや制度の勉強会、通所施設の見学説明会。②障がい児者の生活環境の向上のため、大和市の機関各所や議員と懇談、行政への提言、要望書の提出など。③余暇支援の活動として、カラオケ、ボーリング大会、バス旅行などのイベント開催。



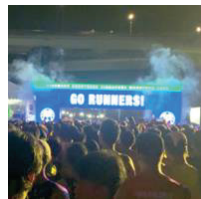
18歳以上の知的障がい者の居場所が欲しいなと思って大和市民活動センターに相談したのが登録のきっかけ。学齢期は放課後デューサービスがあるが、就労後は行く場所がない。「安心して、居てもいい場所」という居場所を作りたい。

放送のおわりに「子育ての悩みは尽きませんが障がい児を持つ親、特に母親は長期的、継続的に不安を抱えがちです。周りの人の理解を得られず孤立してしまうと、子どもの療育にも大きな影響が出てしまうので、一人で頑張って疲れ果ててしまう前に、同じ悩みや経験を理解しあえたり、相談できる仲間がいることを知っていただきたいと思います」

着いてみると、スタート地点にはランナーが箱詰め状態。例年、全種目でおよそ5万人以上が参加し、海外からの参加も多いそうだ。赤や青のギラギラしたライトと、ドラムのBGM、盛り上げ役の英語の実況の中、甲高いラッパの音でスタート。大勢のランナーと一緒に、夜明け前の街を走り出した。コースからマリーナ・ベイ・サンズが良く見えて、いよいよ海外で走り出したという興奮と、自分のペースを大事にしようという冷静さが心地良かった。しかし終盤の30キロ地点、両脚のふくらはぎに始まり、太ももまでつづってしまった。4-5キロは同じペースで走りながら対処できたものの、いよいよ走れなくなった。日本よりも高い気温、履きなれていない靴、前半に早めだったペースと、肉骨茶が原因だった。

歩くことは続けて沿道で応援してくれる30代くらいの集団から氷やスポーツドリンクをもらった。僕の淡い表情が映ったのか、その短い間も、大勢からガッツある甲高い声援を受けて、笑顔で剣な表情が目に焼き付いた。確かにとても元気が出たが、中国語で全然わからない!僕も再び笑顔になって走り出すことができた。他にも、ランナー同士で声をかけて励まし合い、応援する人たちとハイタッチをできたことが本当に楽しいと思えた。言語や住むところは全く違うのに、ランナーというだけで共通点ができ、喜びあえる仲間になれるのは素敵なことだ。

今年も、TSUBASA's トークをよろしく願いいたします。サポーター 尾畑 翼



大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第222号 発行日：2026年1月10日

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第222号 2026年1月10日 大和市民活動センター【拠点やまと】発行



第18回
やまと国際アートフェスタ
テーマ 世界はいろいろ

インターナショナル賞受賞作品
林間小学校4年生
平本杏樹さん
(カンボジア)

タイトル 愛と平和の樹

メッセージ

皆が仲良く暮らせる世界になれば
いいなって思いながら描きました

表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催 やまと国際アートフェスタ の入賞作品を毎号掲載しています

★やまと国際アートフェスタは「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)の主催で毎年開催されています

★IFCは、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです



今年も宜しくお願い致します。
“共育（ともいく）”を合言葉に 引き続き皆さんと一緒に市民活動をひろげて行きましょう!
新型コロナウィルスの影響は以前と比べると薄らいではいるものの、昨年暮れなど他のインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎そして帯状疱疹などなど大変な状況が発生し大和市ではいまだに続いている状態です。
よく聞く『健康第一!』もいざ具体的な実行には結び付けない日頃の生活を送っている様にも思います。
ある医者から“未病”(特定の病気になる前の状態)での対処・心構えを言われ「メタボ(メタボリックシンドローム)腹部肥満に高血圧、高血糖、脂質異常のいずれか2つがあてはまった状態!…お前はもうこの仲間だよ!」と言われながら久しぶりの再会に乾杯! 「拠点やまと」会長 望月 則男



第114回 共育セミナー
2026年1月24日(土)14時~

家族だけで抱えなくていい、
支えあう「介護」を
一緒に考えてみませんか!

おはなし 田中 かおり さん
(市民活動グループ ごきげんカンパニー代表)

場 所 大和市民活動センター
(市民活動拠点ペテルギウス2階)



カッコーフェスタ2025 写真レポート



今年度も、昨年12月7日に「市民活動拠点ベテルギウスまつり」の一環として「カッコーフェスタ2025(市民活動団体交流まつり)」を開催しました。

参加者は、約 900 名。当日は 10 時から 13 時までという短時間開催でしたが、多くの親子連れなどでにぎわいました。
その様子を写真で報告します。

○ベテルギウスまつり主催団体
大和市子ども青少年みらい課、
つながり推進課、産業活性課、
(公財)大和市国際化協会、
(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団、
(公社)大和市シルバー人材センター、
大和市更生保護サポートセンター、
大和市民活動センター



手づくり品いっぱい



会議室1. 多目的ルームにも来てね

市民交流スペースがこんなににおおぜいのこどもたちで、埋め尽くされるのは年に1度だけ。今年初めて、ベテルギウスまつりに参加した、リゲルのオーナーさんは、「こんなに来るんですか」とびっくりしていました。



わーい



大和市の国際化の状況を知ってください



達人の域

ベテルギウスまつりの各ブースをめぐるスタンプラリーも行われ、多くの子どもたちがチャレンジしました。

スタンプラリー参加団体(順不同)

母親クラブ連絡協議会模擬店/Euphonia(ハンドマッサージ)/中高生部会(おけけ屋敷)/大和・綾瀬更生保護サポートセンター/スポーツ・よか・みどり財団/シルバー人材センター(フォトカレンダーづくり)/スタジオソラド(お気に入りスポットマップをマーク)/子ども会連絡協議会模擬店/中学生部会ゲームコーナー(ボウリング)/食品サンプル体験あいさん/国際化協会(国旗クイズ、ハンドクラフト)/寺子屋もくもく(算数パズル)/笑みが満ちるサロン(とりそらくす)(カルタ、茶道体験)/市民活動センター休憩所



お菓子釣り 中身は見えませんでした



真剣にねらう



日頃の成果をみてください



楽しいワークショップ



カルタはみんな知ってる?



マジックショー



すてきなまなざし

ベテルギウスに入居している7団体が、協働して年に1回だけ開催するおまつり。普段互いに交流はあまりないけれど、互いに強みを生かすというイベントができます。まるで「寄せ鍋」のように。こういう緩いつながりが日常になっていくといいなと思います。



すごい人口密度



わたしだけの作品



集中！集中！



「がくいきの会」毎年、多芸のメンバーが、こどもたちにいろんな遊びを教えて生き生きとしています。↓



スタンプラリーに並びます



世代を超えた交流が生まれます



こどもたち、アナログの遊びも大好き



こどもたち、アナログの遊びも大好き

切り絵の友 恒例 2026 年の干支をカッコーフェスタにて くじ引き配布。(今年は「午」) その売上金を市民活動支援に寄付していただきました

カッコーフェスタに参加をいただいた「切り絵の友」さんは、当日手づくりの今年の干支の午を来場者に配付し、募金を呼びかけました。募金は「大和市民活動センター」に寄付され、団体のご希望により「市民交流カフェ」の運営に使わせていただくことになりました。ありがとうございました。



市民交流カフェを開催して、2 年目が間もなく終了します。そこで、3 月 18 日は、みんなの卒業記念イベント「ボードゲームカフェ」を開催予定。
こうご期待!!

第1土曜 第3水曜
15時～17時30分
今後の予定
1/21 (水)、
2/7 (土)、2/18 (水)、
3/7 (土)、3/18 (水)

12月の展示コーナー



がくいきの会

スタジオソラドでは、25 年 12 月に開催されたベテルギウスまつりにて、みなさんの町の「お気に入り」をポストイットに書いて、地図のその場所に貼ってもらい、『みんなのお気に入りスポット地図』の作成をしてもらいました。完成した地図を展示いたします。

共育ボードより

市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については、大和市民活動センターまでお問い合わせください。

★2つの地図を並べるとコメントの入っている地図はまさに人が生きている街のものですね。視点を変えてみると興味深いです！★うちのおきにいの場所はベテルとイオン！

カッコーフェスタ 2025 に参加いただいた団体
ペイン・ヘルスケア・ネットワーク みんなのスマホ
大和たんぽぽの会 WE21ジャパン大和
血管ケア de メンテナンス (順不同 21 団体)

カトレア会フラワー粘土教室
がくいきの会 結まる
大和市手をつなぐ育成会

ハッピーウインズ
モチモチ文庫
切り絵の友

歴史工房やまと
食のアトリエ
にじいろ

日本ケアランポリン普及協会
特定非営利活動法人たんぽぽ障がい者自立支援たんぽぽ事業所
日本新舞道協会

トルノワイエ スミレ(市民文化交流事業推進委員会)
パン工房 麦の香り
大和南京玉すだれ&ジャグリングクラブ